

第29回全日本リレーオリエンテーリング大会報告

2020年11月8日 鹿児島県南さつま市

第29回全日本リレー大会が11月8日（日）鹿児島県南さつま市で開催されました。岐阜県は、三重県、滋賀県のおかげで連合チームを組むことができました。岐阜県単独ではどのクラスもメンバーが揃わなかったのですが、連合チームとして3クラスに参加することができました。ありがとうございました。レース結果は、MV7位、XV2位、WE5位と大健闘でした。

連合チーム結成

鹿児島県開催の今回の全日本リレー大会は、参加チームが十分揃うか、運営者が確保できるか心配しておりましたが、関係者の努力で例年と遜色ない大会になりました。

チーム結成は、困難が予想されたので、早めに取り掛かったつもりですが、やはり、遠方での開催とコロナ禍の影響で難航しましたが、なんとかWE：加納（三重）、佐久間（岐阜）、江田（滋賀）、MV：玉木（滋賀）、広江（岐阜）、大平（岐阜）、XV：平島（滋賀）、古津（滋賀）、鹿野（岐阜）のメンバーが確定できたのは、エントリー締め切り直前になってしまいました。

11月7日（土）前日開会式



開会式は、南さつま市加世田の「南さつま市民会館」で行われました。市長の本坊輝雄氏が、フリップを見せながら挨拶をされました。今年は市政15周年に当たって

いるようで、ここでオリエンテーリング開催をされることを心より歓迎してくださっているようでした。代表的な鹿児島弁を紹介されるなど型破りでありながら心温まる挨拶でした。

旅の楽しみ

その1 知覧平和公園（特攻記念館）



開会式へ行く前に少し寄り道して知覧へ立ち寄りしました。知覧は、第2次世界大戦の時に特攻の基地として知られたところです。忘れてはいけない場所です。

その2 知覧武家屋敷



その後、武家屋敷の並ぶ通りを歩きました。ここはNHK大河ドラマ「西郷どん」

のロケ地となったところです。薩摩藩は、藩内の主な拠点に家臣団を分散して配置していたようで、知覧には当時の屋敷がまともに残っています。通りと武家屋敷の中を走り回るスプリントオリエンテーリングができないかなあと妄想してしまいます。

その3 鹿児島とうまかもん



広江、加納、橋本で食事会をしました。旅の楽しみは何と言ってもご当地の名物料理。鯖やイカナゴの刺身、さつま揚げなどを堪能しました。なんとカメノテを初めて食べました。加納さんによるとスペインでも食べるそうです。コロナに感染しないよう節度を守って楽しみました。

11月8日(日) リレー大会本番



トレインとなったのは「南薩少年自然の家」と日本三大砂丘の一つ吹上浜の一部です。スタートゴール付近は、少年自然の家の建物、広場、疎林となっていていいですが、砂丘の森は、微妙な起伏が走行可能度の悪い藪に隠れて地図の見た目の印象以上に難しかったようです。



一斉にスタートする選手たちの様子です。MV 玉木圭介選手は力強くスタートダッシュを決めます。粘りの力走で、流れを作ります。



XV 平島俊次選手は、極めて冷静にスタートを待っています。安定感のある走りを見せトップで戻ってきました。



WE1 走加納尚子選手は最後尾からじっくりくり地図を読みながら走っていきます。フィニッシュへは、きっちり1位で帰ってきました。



WE 2 走佐久間若菜選手は、足にいったいタネをつけて戻って来ました。力走で首位を守ります。来年は社会人ということで。岐阜県の女子の先頭に立って活躍してほしいです。



XV 2 走 古津和夫選手さらに差を広げてフィニッシュ。2連覇の夢は広がりましたが・・・。



なんとエース鹿野勘次選手、埼玉に大逆転を食らってしまいました。前方の赤いウェアに帽子の選手は、筑波大学を退官後埼玉県のエースとして存在感を示す橋直隆選

手。鹿野選手は古津選手から引き継ぐ時に手間取ったことで焦りが出たようです。昨年の借りを返されてしまいました。3位には、三重県の谷秀司選手が差を詰めて入りました。XV クラス 3 位までの差は 1 分以内の大接戦となりました。

熱戦の繰り広げられる最中にはるばる中田夫妻がパジェロミニで岐阜から応援に駆けつけてくださいました。ありがとうございました。

楽しくもあり、悔しくもありの大会でした。来年は三重県での開催です。選手として、スタッフとして皆様のご協力をお願いします。



お詫び：大平さんの写真がなぜかうまく撮れておらず掲載できません。わずかに選手一同で気合を入れる所に写っていますが、顔が手で隠れてしまいました。